

取組と目標に対する自己評価シート（個票）

※このシートは、目標ごとに作成してください。

保険者名： 有田町

タイトル 認知症サポーターの養成

現状と課題

高齢化率が35%を超え、介護保険申請者にも認知症が多くを占める。地域の誰もが認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることができるよう養成していく必要がある。

第8期における具体的な取組

認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトと協力しながら、実施する。

目標（事業内容、指標等）

認知症サポーター養成者数累計 4年度まで1,800名

目標の評価方法

認知症サポーター養成者数

実績評価（令和4年度）

■実施内容

令和4年度は町内4カ所の小学校で計画。コロナの影響で1カ所はできず、3カ所の小学校で実施となった。キャラバンメイトに集ってもらい、90分の講話と劇で認知症について学んでもらった。受講者数252名。これまでに受講したサポーター数1,850名。

■自己評価結果

感受性の高い小学生に学んでもらうことで、認知症を支援する環境を育むことができた。受講者数は増加している。受講した小学生が家に帰り家族に話しをすることや、広報誌で活動内容を紹介することでより多くの住民への周知につながっている。

■課題と対応策

平成29年度より町内の小学校で認知症サポーター養成講座を行うようになり、サポーター数は年々増加している。しかし、金融機関や民生委員などの団体や一般住民への普及啓発が進んでおらず、今後の課題としては団体・一般住民への普及啓発があげられる。養成講座の内容の見直しを検討しつつ、広報誌などで受講希望を募り、次年度は団体・一般住民向けの養成講座実施の実現を目指したい。